

## リエンジニアリングの完遂

ビジネスモデルづくりの推進により、価値創造企業を目指します。



平成16年5月  
代表取締役社長 CEO  
森島 征夫

### 概況について

当期の我が国の経済は、設備投資と輸出主導の回復傾向がみられましたがデフレの解消には至らず、当業界におきましても、昨年末の米国におけるBSE(牛海綿状脳症)問題の発生とその後の鳥インフルエンザの感染拡大など、食をめぐる様々な問題が発生し食に対する消費者の不安・不信感は増加するなど、当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい年となりました。

### 経営成績

当社グループは年度経営方針「リエンジニアリングの完遂」に向け、積極的な諸施策を実施いたしました。具体的には、営業力の強化を図るため、販売拠点である支店・営業所が有する固定資産(土地・建物等)を当社グループの資産管理会社「鳴尾興産株式会社」へ譲渡し、この関連で20億5千6百万円の譲渡損失を計上いたしました。また、お客様により安全・安心な製品を提供するため、品質管理機能を強化するとともに生肉加工品のトレーサビリティシステムの導入により、信頼の向上に努めました。この結果、第3四半期までは好調な成績を上げることができました。

しかしながら、昨年12月24日に発生した米国のBSE問題により米国からの牛肉輸入が停止となったことから、こてっちゃん・もつ鍋など当社のビジネスモデルが壊されるという事態に直面し、社長を本部長とする対策本部を設置し、緊急対策をスピーディーに実施いたしました。

以上の結果、売上高は502億1百万円と前期比20.2%の増加、経常利益につきましても28億6千4百万円と前期比86.3%の増加と大幅な増収増益を達成できました。一方で、上記固定資産譲渡にかかる特別損失の計上により、当期純利益は2億8千7百万円と前期比57.3%の減少となりました。

### 配当について

当社は、創業以来一貫して株主の利益を最も重要な課題として事業の経営に当たってまいりました。当期の配当につきましては、株主の皆様へよりタイムリーに利益還元を行うため、中間配当として1株11円を実施いたしました。また、当初予定通り期末配当として1株11円、年間22円の配当を実施いたします。今後の配当政策につきましては、普通配当12円を安定的・継続的な利益還元の基本目標ラインとした上で、配当性向40%を目途として、業績向上による一層の利益還元を実施してまいりたいと考えております。

### 今後の見通し

第39期(平成17年2月期)は、「革新・創造・前進」を年度経営方針に掲げ、米国BSE問題によって破壊されつつあるビジネスモデルを復興するとともに、新たなビジネスモデルを創造し、更なる事業基盤を拡大してまいります。米国産牛肉の輸入停止措置により、当社主力製品「こてっちゃん」の生産を本年5月には一時休止せざるを得ませんが、一方でポスト「こてっちゃん」として、豚の腸を原料とした「とんとこ」の開発が完了し、3月に販売を開始しました。米国等から原料が入荷する5月より生産・販売数量を増やしてまいります。また、オーストラリア・レンジャーズバレー高原牧場の牛製品や当社の加工技術で手作りしたおいしさや健康を愛する魅力ある真心製品を食していただくべく外食・中食市場に積極的に取り組んでまいります。以上により、平成17年2月期の当社グループは、売上高560億円(前期比11.6%増)、経常利益は17億円(前期比40.7%減)、当期純利益は9億5千万円(前期比230.1%増)を見込んでおります。なお、業績予想数値は、株式会社ムラチクとの経営統合を前提としたもので、当社の連結通期予想に株式会社ムラチクの株式交換後の6ヶ月間の連結予想を単純合計したものを記載しており、内部取引等は考慮しておりません。

第39期 年度経営方針

# リエンジニアリングの完遂

革新!! 創造!! 前進!!

株式会社ムラチクと株式交換を通じて経営の統合を図ります。

当社と株式会社ムラチク(以下ムラチク)は、株式交換を通じて経営の統合を図ることを決定いたしました。今後ムラチクの株主総会の承認をいただいた後、平成16年9月1日に当社を完全親会社とし、ムラチクを完全子会社とする株式交換を行ないますが、両社対等の精神に基いた経営統合であります。当社は海外との取組みを基盤とした焼肉・バラエティーミート分野のパイオニアであり、一方ムラチクは国内において生産から販売にかかる一貫した食肉事業を展開しております。この両社が合体することにより、夫々の強みと特徴を更に活かして強い会社を実現し、食肉業界の健全な発展に全力を投じるとともに経営統合後は、人類にとり貴重で大切な動物性たんぱく質である国内外の牛・豚・鶏等の安全な食肉を真心こめて取り扱う総合食肉企業として、食文化の国内外への一層の普及に努めてまいります。

### 1. 株式交換比率

会社名	エスフーズ (完全親会社)	ムラチク (完全子会社)
株式交換比率	1	1.733

### 2. 株式交換の日程

平成16年4月14日	「経営統合に関する基本合意書」 「株式交換契約書」の締結
平成16年5月20日	定時株主総会(株式交換契約書承認) (エスフーズ)
平成16年6月24日 (予定)	臨時株主総会(株式交換契約書承認) (ムラチク)
平成16年9月1日 (予定)	株式交換の日

### 3. 株式交換当該会社の概要

(1) 商号	エスフーズ (完全親会社) (平成16年2月29日現在)	ムラチク (完全子会社) (平成15年11月30日現在)
(2) 事業内容	1.食肉加工品製造販売 2.加工調理食品・惣菜製造販売 3.ソース・調味品製造販売 4.食肉販売 5.食肉小売・レストラン事業	1.食肉の製造販売 2.食品加工 3.食肉卸売
(3) 設立年月	昭和42年5月22日	昭和57年12月24日
(4) 本店所在地	兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13	兵庫県姫路市東郷町1451番地の6
(5) 代表者	代表取締役社長 森島 征夫	代表取締役社長 村上 真之助
(6) 資本金	4,226百万円	623百万円
(7) 発行済株式総数	21,446,659株	6,115,000株
(8) 潜在株式数	298,000株	
(9) 株主資本	18,098百万円	6,181百万円
(10) 総資産	22,250百万円	11,320百万円
(11) 決算期	2月末日	5月末日
(12) 従業員数	340名	169名

## おいしさと健康を愛する魅力ある新製品をお届けします。

#### (加熱味付品)

当社のノウハウをいかして、豚内臓独特の臭みをおさえ、おいしく見栄えよく仕上げました。「焼く・炒める」だけで、ご家庭で簡単・手軽に調理してバラエティーミートをお楽しみいただけます。



豚の腸をやわらかく加工し、味噌をベースに野菜と果実類を加えてコクと旨みを引き出しました。



食感の良い豚ガツ(豚の胃)をやわらかく加工し、しょうゆベースに野菜と果実類を加えてコクと旨みを引き出しました。

#### (非加熱加工品)



当社の加工技術でオーストラリア産牛肉を日本の市場に好まれる、おいしさと食感の良さ(やわらかさ)を追求した製品です。

### 海外との取組み

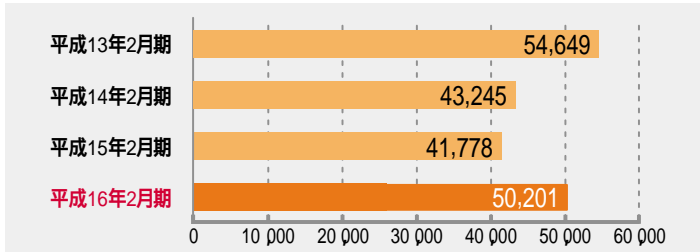


オーストラリア・レンジャーズバレー高原牧場より、当社の「Naruo 牧場」ブランドで、徹底した安全管理体制と穀物飼料による300日以上長期肥育によって日本の市場に合った、やわらかく旨みのある牛製品をお届けします。

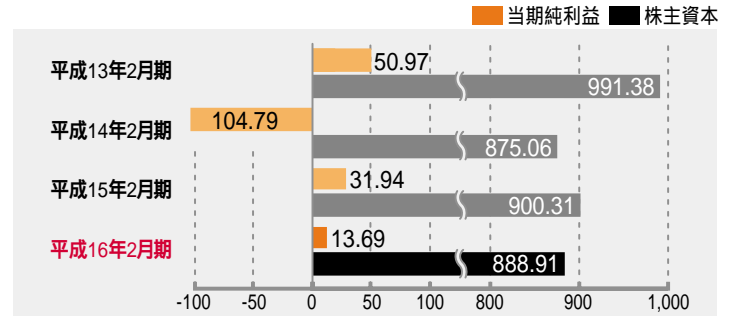
## 連結での営業成績および資産状況の推移

平成15年2月期は、国内のBSE(牛海綿状脳症)発生により対前年比減収となり、また赤字決算となりました。

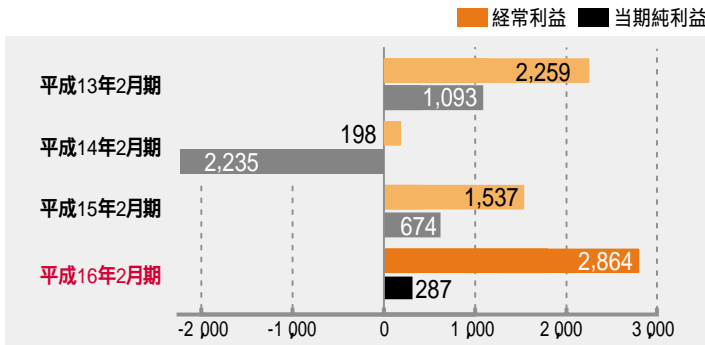
売上高 (単位:百万円)



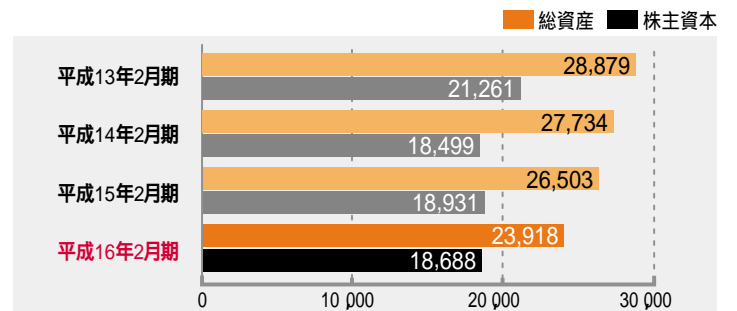
1株当たり当期純利益/株主資本 (単位:円)



経常利益/当期純利益 (単位:百万円)



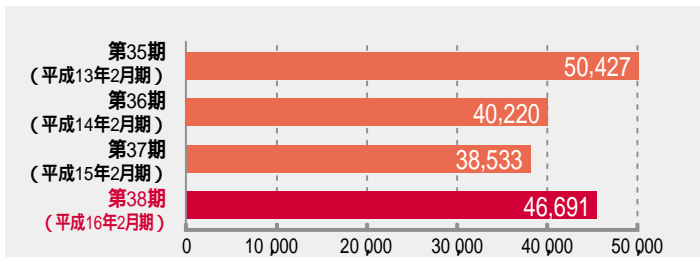
総資産/株主資本 (単位:百万円)



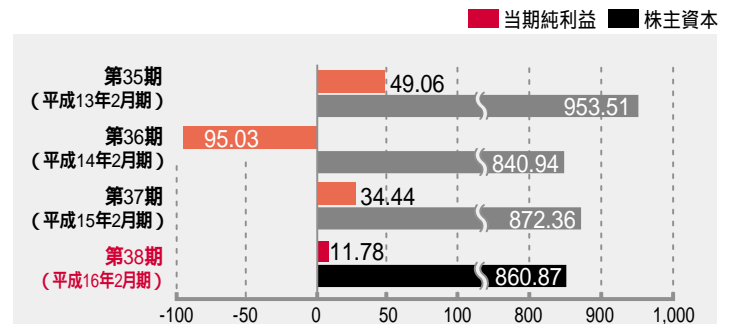
## 当社の営業成績および資産状況の推移

平成15年2月期は、国内のBSE(牛海綿状脳症)発生により対前年比減収となり、また赤字決算となりました。

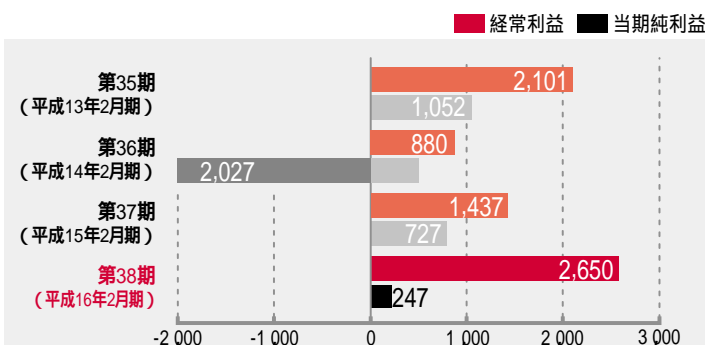
売上高 (単位:百万円)



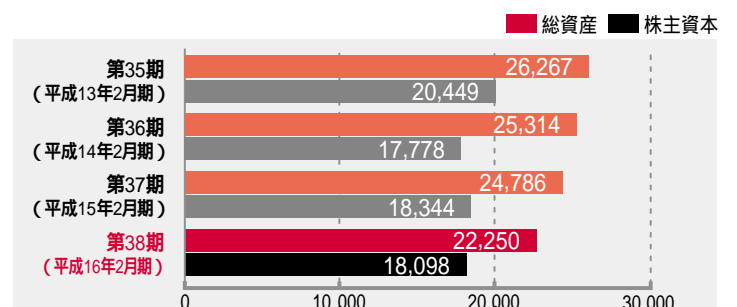
1株当たり当期純利益/株主資本 (単位:円)



経常利益/当期純利益 (単位:百万円)



総資産/株主資本 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

項目	当連結会計年度 平成16年2月期	前連結会計年度 平成15年2月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,839	4,293	2,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	959	613	345
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,443	3,300	1,857
現金および現金同等物の期末残高	2,204	2,671	467
借入金・期末残高	103	836	732

利益処分 (単位:千円)

当期末処分利益	1,156,243
特別償却準備金取崩額	3,784
固定資産圧縮積立金取崩額	49,224
合計	1,209,252

これを次のとおり処分いたしました。

利益配当金 普通配当 1株につき11円	231,265
特別償却準備金	20,944

次期繰越利益	957,041
--------	---------

(注)平成15年8月31日現在の株主に対し、231,282千円の間配当を実施しました。

エスフーズ会社概要

社名 エスフーズ株式会社 S Foods Inc.  
 上場証券取引所 東証・大証1部 (コード番号 2292)  
 設立年月日 昭和42年5月22日  
 代表者 代表取締役社長 森島征夫  
 資本金 42億2,664万円  
 従業員(グループ計) 709名  
 年間売上高(グループ計) 502億円  
 事業内容 食肉加工品、加工調理食品・惣菜、  
 ソース調味料の製造販売 食品の販売  
 主要取引銀行 株式会社UFJ銀行  
 株式会社三井住友銀行  
 株式会社みずほコーポレート銀行  
 株式会社東京三菱銀行  
 UFJ信託銀行株式会社  
 関連会社 ミスタースタミナ株式会社・株式会社ケンシヨク  
 フォーム食品加工株式会社・株式会社味兆  
 五愛焼肉コンセプト株式会社  
 FREMONT BEEF COMPANY(アメリカ合衆国)  
 すこやか食品株式会社・鳴尾興産株式会社  
 ホームページ <http://www.sfoods.co.jp/>

事業所  
 本社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13  
 TEL 0798(43)1065(代表)  
 東京本社 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38  
 TEL 047(435)0811(代表)  
 支店 九州、名古屋  
 営業所 札幌、仙台、茨城、北関東、船橋、八王子、横浜、長野、静岡、  
 岡崎、東海西、京都、和歌山、西宮、姫路、岡山、広島  
 工場 西宮、西宮第2、船橋、船橋第2

株式の状況 平成15年2月末日現在

発行する株式の総数  
76,500,000株

発行済株式の総数  
21,446,659株

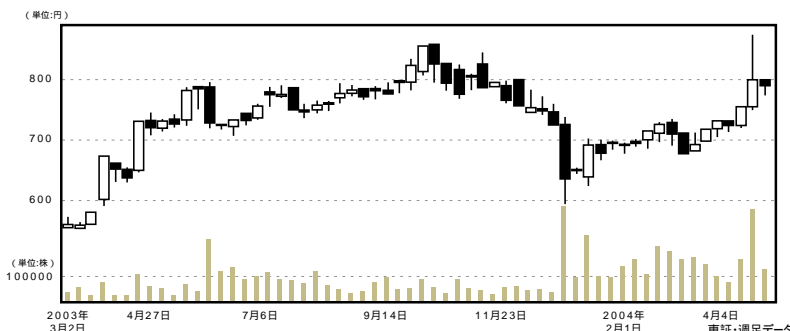
株主数  
2,567名  
(前年比112名増加)

大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
有限会社ファイブエム	5,663,087	27.1	-	-
丸紅株式会社	3,217,550	15.4	445,000	0.0
伊藤ハム株式会社	838,888	4.0	441,525	0.2
三井物産株式会社	705,500	3.3	140,600	0.0
株式会社UFJ銀行	610,790	2.9	-	-
包括信託受託者 三井アセット信託銀行株式会社 (受託者 株式会社三井住友銀行)	610,000	2.9	-	-
森島征夫	500,908	2.4	-	-
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	500,500	2.4	-	-
中井文治	476,000	2.2	-	-
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	383,000	1.8	-	-

(注)1.当社は、自己株式422,556株を保有しております。  
 なお、当該株式は、商法第241条第2項の規定により議決権を有しておりません。  
 2.当社は、(株)UFJ銀行の持株会社である(株)UFJホールディングスの株式50,066株(議決権比率0.0%)を保有しております。  
 3.包括信託受託者三井アセット信託銀行(株)の持株数610,000株(議決権比率2.9%)は、(株)三井住友銀行が同行に委託した信託財産であり、その議決権行使の指図権は、(株)三井住友銀行に留保されております。  
 なお、当社は、(株)三井住友銀行の持株会社である(株)三井住友フィナンシャルグループの株式30.8株(議決権比率0.0%)を保有しております。

株価の推移と株式の売買高



本決算レポートに掲載されている、当社の現在の見通し、戦略、計画などは将来の業績に関する見通しであります。またこれらは当社の判断に基づいており、つきましては見通しに全面的に依拠することはお控え下さい。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化による様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、予めご了承願います。

株主メモ

決算期 毎年2月末日  
 定時株主総会 毎年5月  
 基準日 (1)定時株主総会については2月末日  
 (2)その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日  
 公告掲載 当社は日本経済新聞での決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ(<http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html>)に掲載しております。  
 株式名義書換  
 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号  
 UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話 06-6229-3011  
 同取次場所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店  
 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。  
 電話(通話料無料) 0120-24-4479(本店証券代行部) 0120-68-4479(大阪支店証券代行部)  
 インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>  
 1単元の株式の数 500株